

# Kids Wave きつずうえいぶ

第16号  
2019年10月

社会福祉法人  
大村子供の家



## 飛べ！ 新元号口ケツト

ある日、児童養護施設で暮らす小学4年生男の子の宿題を横で見ていたら、音読カードの表紙に「令和」と書かれた口ケツトの絵を発見。「これ自分で書いたの？」と聞くと「うん そうだよ」と照れくさそうにはにかむ男の子。

「へえ、面白いね。昔の元号口ケツトはカブトムシやクワガタと合体してるね。なんでこの絵を書こうと思ったの？」

「なんとなくほかの人と違うやつを書きたかったから」

勢いよく今にも空に飛んでいきそうな令和口ケツト。過去の元号口ケツトもそれぞれに個性があり、違う時代を突き抜けてきたかのよう。斬新かつ独創的な絵を書く男の子に感心するとともに、これから新しい時代を旅しようとする新元号口ケツトに思わず元気をもらいました。暗いニュースも多い昨今ですが、明るい未来を創っていくのは我々大人や、これら成長していく子どもたちです。新元号口ケツトに夢をのせて、新たな時代を共に助け合いながら進んでいきましょう！



## うちのごはん(福崎ホーム)

ここには、分園型グループケアの福崎ホームです。福崎ホームでは元気いっぱいの小学生2人、部活と勉強に励む中学生1人、年頃を迎えた高校生2人の合計5名の子ども達が生活しています。2人の担当職員や宿直専門員の支援の他、食べ盛りの男の子の胃袋を支えているのは2人の調理の先生です。旬の食材を取り入れ工夫し、様々な食事をボリュームたっぷり作ってくれます。子ども達は、先生の手作り料理が大好きで、帰宅するなり台所へ直行し、チラリと横目でメニューをチェックしています。

先日、夏の野菜、冬瓜とチーズ入り肉団子の煮物が食卓に出た際、「今日の大根はすごくやわらかいね！」と子ども達。「これは大根ではなくて冬瓜よ、夏に採れるけど模様のないスイカみたいな色で、形は橢円形で冬の瓜って書くの」と先生が丁寧に説明すると、「何で冬の瓜？冬まで保存できるから？」と次々に質問が・・・「先生も知らないんだ」と反省しつつ「とりあえず食べよう」と気持ち切り替え賑やかな食事になります。

ご紹介したいメニューは多々ありますが今回は手作り餃子を紹介します。たくさんのお野菜とお肉がギュッと詰まつた餃子で、焼き上がるときつかり羽がついており外はカリカリ、中は肉汁がジュワ~っとしていて美味。調理の先生は短時間で100個作るから凄い。今日も元気にいただきます！

## ☆世界の国からこんにちは☆

South Korea

韓国

公益財団法人クロスボーダーウィング様のご支援により、大村子供の家の児童2名と職員1名が8月上旬にと韓国・プサンの児童養護施設に6日間滞在し、また8月下旬には、プサンとソウルから児童4名、職員2名を大村子供の家で受け入れ、国境を越えた交流・異文化体験を行いました。今回は職員として韓国を訪問し、大村での受け入れも手伝ってくれたM先生からの報告です。



日本と韓国、一緒にポーズ！



8月2日から7日まで高校3年生女児2人と共に、釜山の児童養護施設「セドウルウォン」を訪問しました。2人の子ども達は前から韓国に興味がありました。辛くないよというので、韓国の唐辛子は辛くないのかと思いパクッと食べました。とんでもなく辛い辛い！！信じられません。釜山ではギクシャクする日本関係を全く感じさせず、街や施設の人々はとても親切で温かさを感じた程でした。帰国後は子ども達の韓国語学習にも熱が入り、良い経験になったようです。

8月26日から30日にかけ、今度は韓国の子ども達を子供の家で受け入れました。残念ながら天候に恵まれませんでしたが、グラバー園や小浜温泉、地獄めぐり、ドンキ・ホーテやダイソー、福岡でのお買い物と楽しんでもらいました。特に温泉は韓国にはないようで感激されました。今回残念だったのが受け入れ時期。子ども達は夏休みが終り28日から登校日のため、子ども同士の交流は少なくなってしまいました。韓国では国際交流のための学校欠席が認められ、文化の違いを知りました。今回このような貴重な体験をさせて頂き、反省点を踏まえて次の交流に活かせるようにしたいと考えています。

## 行事予定

- 10月・・・11日 キッズホーム・親子遠足 19日 歩こう会 26日 キッズランド・運動会
- 11月・・・16日 秋まつり
- 12月・・・米軍来訪 九電餅つき来訪、各ホームクリスマス会



## 編集後記

今年6月に突如生まれたオスヤギですが、4か月ほどが経ち、大きくなってきたため、里子に出すことになりました。これまで可愛がってくださった皆様ありがとうございました。現在は児童養護施設職員の自宅の庭で、緑豊かな環境の中、飼い犬と一緒に伸び伸びと生活しているそうです。成長の様子をまた、この機関紙でご紹介ていきたいと思います。KM

大村子供の家 〒856-0811 長崎県大村市原口町591番地2  
TEL 0957-55-8319 FAX 0957-55-4661



# b&g 放課後児童クラブ おむら

## 初めて尽くしの旅・沖縄

「夏休み、飛行機に乗って沖縄行ったよ」「渡嘉敷の海が、めっちゃきれいだった。魚が足をツンツンつづいた」そんな子ども達の感想を聞いて「私も行きたかった」という親御さんからのうらやましそうな声もチラホラ。

日本財団が「子どもの自立を育む夏休みの体験」として企画された全国の子ども達との合同旅行に、b & g おおむらも全員で参加し7月末に沖縄の渡嘉敷島を訪れました。バス、飛行機、船を乗り継ぎ渡嘉敷島へ、朝10時に出て夕方5時に着く長旅でした。青少年交流の家に全国の子ども達が集い、共に夕食や交流ゲームを楽しみました。おおむらの子どもたちは自主性や積極性に富み、交流ゲームでも好成績で、団体紹介も子ども自身で行いました。2日目は底まで見える綺麗な海でマリンスポーツを満喫。夜は子どもたちの希望で360度見渡せる展望台に行き、満点の星を体感し至福の時。最終日は大好きな家族へのお土産選び。

5月から準備を進めてきたこの企画。初体験の子ども達は飛行機が離陸する瞬間に怖くて目を閉じたり、想像以上の暑さの中での日焼け止め対策に苦戦したり、夜に泣いた子や家族から借りた大事なものを忘れ物した子も。それぞれに初めての旅行は大変だったけど、経験の一つ一つが子どもたちの力になることを願っています。



## 認定こども園キッズランド 夏の思い出

7月



七夕の集いで各クラス趣向を凝らした発表会を行いました。先生達による彦星と織姫のお芝居が面白かったです。



7月から8月にかけてプール遊びを行いました。最終日には期間中にできるようになったことをお友達の前で披露しました。

8月



大村消防署の指導を受けて初期消火、通報、避難訓練を実施しました。園児たちは先生達の消火訓練を見学し、その素早い動きに驚いていました。最後は消防車の見学を行い消防士気分で記念撮影に收りました。

9月



夏のお楽しみ会で色々なゲーム等を行い楽しく過ごしました。中でも「おばけトンネル」は好評?で園児達の悲鳴と泣き声が園内に響き渡っていました。



園児が毎日、水やり当番を決めて丹念に育てたパッションフルーツを収穫しました。自然の恵みに感謝しておいしく頂きます。どうやってたべるの??

8月1日から子育て支援スペース「はぐはぐキッズ」を開設いたしました。お子さんの遊び場として、パパ・ママ・おじちゃん・おばあちゃんの憩いの場として、ぜひご利用ください。まずは、お気軽に見学にお越しください。

## 児童養護施設・夏のイベント紹介

8月末、各県上位2チームが出場する九州地区児童養護施設球技大会に参加しました。男子は野球・女子はバレーで競い合い、女子は他県強豪チームとの対戦で惜しくも敗戦。決勝トーナメントに進むことができませんでしたが、皆全力を尽して頑張ってくれました。男子の野球ですが、大会前日からの悪天候により急遽男子もバレー競技に変更。バレーは一度も練習しておらず、一同戸惑いましたが、たまたま高校生の一人がバレー部で、他の男の子たちも躍動し、抜群のチームワークで職員も驚きの2連勝。念願の決勝トーナメントに進むことが出来ました。次の日は天候が回復し、野球での対戦。熊本県の施設に負けてしまいましたが堂々の3位。今年度卒園する高校3年生たちの頑張りがあったこそその結果だと思います。2泊3日の大会は良い思い出となり、この経験を活かし社会でも活躍してほしいと思います。



公益財団法人 オリックス宮内財団様からの招待により、8月1日から3日まで6名の子ども達と2名の職員、また県内の児童養護施設の方たちと一緒に大阪まで出かけました。子ども達は、初めての飛行機で緊張して空ばかり眺めており、「雲の上だー」と大はしゃぎ!宿泊先のホテルでは、夜みんなでトランプをしたり、枕投げをしたりと遅くまで楽しい時間を過ごしました。観光では、アイスクリーム作り体験やカップヌードルミュージアム見物、野球観戦等様々なイベントであつたという間の3日間でした。子どもたちにとっては、有意義な時間を満喫し夏の良き思い出となりました。

毎年お盆に行う一泊二日のサマーキャンプでは今回、長崎大学グローバルヘルス研究科の留学生や関係者がボランティアで参加してくれました。パプアニューギニア、ラオス、カンボジア、ベナン、そして日本となかなかインターナショナルなキャンプでしたが、国籍や言葉は関係なく、あつという間に子ども達と溶け込みお互い楽しい時間を過ごせたようです。夜は留学生も肝試しに参加。子どもたちと共に日本のスリラーを体験してもらいました。



留学生の皆さん、来年もまた参加してください!

## 小規模保育園キッズホーム 交流イベント

キッズホームでは「高齢者デイサービスセンター あぐりハウス」と定期的に交流させていただいている。今年も夏祭りにご招待いただきました。ヨーヨー釣りや輪投げなどあぐりハウス利用者様にご準備いただいた遊びに子ども達は大はしゃぎ。また抱っこや握手、一緒に「シャボン玉」や「うみ」を歌い、和やかな時間を過ごすことができました。プレゼントに利用者様が心を込めて作ってくださいました手作りの可愛らしいバックや毛糸のボールなどを一人一人いただきました。子ども達は家に帰ってからもずっとバックを手にしていたそうです。いつも子どもたちの成長を楽しみに見守ってください、本当にありがとうございます。

